

箏

koto

北九州市立美術館



横山大観《紅葉》1931年 足立美術館蔵

北九州市立美術館開館 50 周年記念

横山大観展に 合わせて 箏の調べを聴く 記念演奏会

2024

4.13 土

・時間 / 18:00~18:30

※夜間特別開館 20:00 まで開館

(入館は 19:30 まで)

・会場 / 北九州市立美術館・本館
エントランス・ホール

・演奏会入場 / 無料

※横山大観展は別途、観覧料が必要です

・お申込み: 不要

・主催 / 北九州市立美術館 友の会

北九州市立美術館では、記念すべき開館 50 周年記念事業の幕開けとして開催する「横山大観展」の会期中、大観の名作 50 点で賑わう会場のエントランスで、「和の調べを聴く『箏』の演奏会」を夜間特別開館として開催いたします。

春宵に輝く美術館で、ぜひ、日本美術の粋と和楽器の調べをご堪能ください。

NPO 法人和楽啓明(わがくけいめい)

和楽器や伝統音楽の普及、育成継承を推進する NPO 法人和楽啓明 (わがくけいめい) は、文化庁派遣事業や教育委員会との協働のもと「中学校音楽科における箏の授業支援事業」など、学校教育における伝統音楽指導に長年、携わっています。

さらに、子どもからシニア、外国人など幅広い層を対象に演奏披露や体験イベントを開催しています。



北九州市立美術館

Kitakyushu Municipal Museum of Art

093-882-7777

《協賛》 北九州市立美術館「友の会」美術館パートナーズ 【加盟】(50音順) Aimowl 株式会社、有限会社江崎ストアー、株式会社エムアイシステム、北九州銀行、医療法人社団黒崎整形外科病院、黒崎播磨株式会社、シャボン玉石けん株式会社、世界平和パゴダ、株式会社田園興産、株式会社千草、戸畑港運輸株式会社、西日本シティ銀行北九州総本部、公益財団法人芳賀文化財団、福岡銀行北九州本部、福岡ひびき信用金庫、ヤマト運輸株式会社、匿名



横山大観《紅葉》(左隻-部分) 1931(昭和6)年 足立美術館蔵

足立美術館所蔵

横山大観展

2024年 4/6(土) → 5/19(日)

【開館時間】9:30-17:30(入場は17:00まで)

【休館日】月曜日(ただし月曜日が祝日又は振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

【観覧料】一般 1,700(1,400)円/高次生 1,300(1,100)円/小中生 900(700)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方とその同伴者1名(身体障害者手帳については等級が1〜4級の場合に限る)は無料。北九州市在住の65歳以上の方は2割減免(公的機関発行の証明書の提示が必要)。事前売り券は、オンラインチケット(北九州市立美術館HPより)、ローソンチケット(ローソン、ミニストップ)、チケットぴあ(セブンイレブン)、セブンチケット(セブンイレブン)、eチケットプラス(ファミリーマート)、小倉井高屋、北九州モノレール主要駅などで販売。※オンラインチケット、デジタルチケットは観覧会場内では当日料金での販売となります。

【主催】横山大観実行委員会(北九州市立美術館、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、テレビ西日本、テレQ、LOVE FM)
【特別協力】公益財団法人足立美術館 【企画協力】TNCプロジェクト
【後援】九州旅客鉄道、西日本鉄道、北九州モノレール、筑豊電気鉄道、朝日新聞社、NHK北九州放送局

【協賛】
九電グループ 福岡銀行 西日本シティ銀行 YKK AP
ずっと先まで、明るくしたい。 西鉄バス YASKAWA 安川電機 TOTO

北九州市立美術館
Kitakyushu Municipal Museum of Art

本館

〒804-0024 北九州市戸畑区西朝ヶ谷町21-1 TEL 093-882-7777 <https://www.kmma.jp>

大観

The Best Selection of Yokoyama Taikan
from Adachi Museum of Art



北九州市立美術館
開館50周年

足立美術館所蔵
**横山
大観展**

大観

The Best Selection of Yokoyama Taikan
from Adachi Museum of Art



《無我》1897(明治30)年

出世作となった、初期の代表作《無我》



《曳船》1901(明治34)年

朦朧体の傑作《曳船》

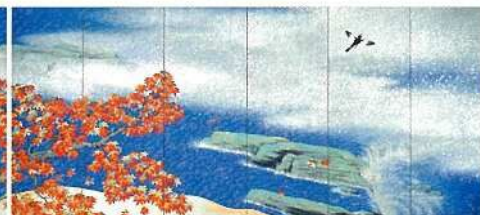


《夏之不二》1920(大正9)年

生涯をかけて、描き続けた富士山



《紅葉》1931(昭和6)年



※すべて足立美術館所蔵

2024(令和6)年、北九州市立美術館は開館から50周年を迎えます。これを記念して「足立美術館所蔵 横山大観展」を開催いたします。

横山大観(1868[明治元]ー1958[昭和33])は我が国を代表する日本画家です。大観は、日本の文化財の保護や、日本美術の伝統を踏まえつつ新たな表現を奨励して未来に繋げる道を指し示した岡倉天心の理念に深く賛同し、1898(明治31)年、天心の日本美術院創設に参加。西洋絵画の技法等を研究し「朦朧体」と呼ばれた革新的な表現に挑みました。天心の死後は大観らが中心となってその遺志を引き継ぎ、美術院を再興。以後、院展を拠点に活躍しました。1937(昭和12)年にはその多大なる功績により第1回文化勲章を受章するなど、日本画壇のみならず日本の美術文化の発展に大きく貢献しました。

本展では、近現代日本画のコレクションで名高い足立美術館の所蔵作品から、近代日本画の巨匠・横山大観の名品を精選してご紹介いたします。初期作品から晩年にいたる大観の画業を、足立美術館の名品からご堪能ください。

円熟期の豪華絢爛な大作《紅葉》

足立美術館

鳥根県安来市にある美術館。1970(昭和45)年、同地出身の実業家・足立全康氏(1899ー1990)のコレクションをもとに開館。近現代の日本画をはじめ北大路魯山人の陶芸、木彫、重画など約2000点を所蔵。なかでも横山大観作品は約120点と国内屈指の規模を誇る。また、同館の創設以来の基本方針「日本庭園と日本画の調和」のもと、全康氏によって作られた広大な日本庭園は、四季折々の自然の美しさを楽しめる。アメリカの日本庭園専門誌『ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング』が実施している庭園ランキングで連続日本一に選ばれていることでも知られる。

同時期開催の 展覧会

※別途、観覧料が必要です。

本館

コレクション展Ⅲ 特集 磯崎新「還元」シリーズ 1月4日(木)～5月6日(月)
コレクション展Ⅰ 5月18日(土)～8月25日(日)(予定)

イベント

講演会

2024年 4月6日(土) 13:30～15:00(開場13:00～)
[演題] 「足立美術館と横山大観コレクション」
[講師] 安部則男氏(足立美術館学芸部長)
[会場] 美術館本館アネックス3階 レクチャーラーム(定員80名)
※要予約。事前申込み制。詳細は、美術館HPをご覧ください。

■ スライドトーク 学芸員が展覧会の見どころを解説します。
①4月13日(土)、②4月27日(土)、③5月2日(木)
[時間] 11:00～(30分程度)
[会場] 本館1階 エデュケーションルームA(各回定員20名)
※参加無料。各回とも当り10時より美術館1階インフォメーションにて受付券を配布。

交通案内



● 西鉄バス

- 市内各地より
「七条」で下車、「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛幡門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要6分)。
- JR小倉駅より
「小倉駅入口」(JR小倉駅からモノレールに沿って行き、小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から西鉄バス7M番(朝ヶ谷方面行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要30分)。
- JR戸畑駅より
「戸畑駅」から西鉄バス7M番(砂津行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。
- JRスペースワールド駅・JR枝光駅より
タクシー(所要10分)。

● 高速バス

「西鉄天神高速/バスターミナル」から高速バス・いとう号(小倉方面行き)に乗車、「七条」で下車(所要1時間20分)。「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛幡門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車。

● 車

北九州市高速道路:山路ランプから車で8分。

〈臨時駐車場・無料シャトルバスのご案内〉

- マイカーでお越しの方へ
美術館の駐車場には限りがあり、会期中の土・日・祝日の駐車場は混雑が予想されます。臨時駐車場として、ジ アウトレット北九州駐車場もご利用できます。(ジ アウトレット北九州駐車場利用時間 = 土・日・祝日 7:00～24:00)
※入口は、順次解放されます。
- 美術館本館⇄ジ アウトレット北九州バス乗り場
無料臨時バスを運行(土・日・祝日のみ)
詳細は、美術館HPをご覧ください。



臨時駐車場
詳しくはこちら

北九州市立美術館

Kitakyushu Municipal Museum of Art

〒804-0024 北九州市戸畑区西朝ヶ谷町21-1
TEL 093-882-7777
https://www.kmma.jp

本館

